

事業所訪問  
vol.30

町長の  
まち・ひと・しごと  
魅力発信



## 『須崎旅館』

町内には、優れた技術やノウハウを持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自らが訪問して、目で見て、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。

### 町長の見て・聞いて・話して

第30回の事業所訪問は、1月12日に小鹿野町小鹿野の須崎旅館を訪問し、須崎真紀子代表にお話を伺いました。

明治35年頃、初代が春日町に創業し明治40年頃から今の場所で営んでいるそうです。須崎代表が21歳の時に4代目として引き継いだ当初は、ビジネス客が多く、あまり「観光」のイメージはなかったそうです。しかし、社会の変化に伴いビジネス客が徐々に減り、空き部屋が出てきたところで歌舞伎や銘仙などの文化やインターネットに着目し、ターゲットを観光

客にシフトしてニーズに合わせてきたとのことでした。現在では、8割が観光客で、ビジネス客は2割程であることから良いタイミングで切り替えられたとおっしゃっていました。

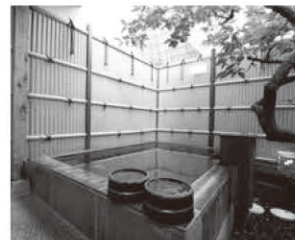
須崎代表は、今日までイベント等に積極的に参加しており、自ら体験することにより、町の自然や文化の良さを感じたそうです。体験してきたことは、今の旅館の特徴作りにも生きており、また、常にお客さんと接していることにより町にいと当たり前と感じてしまう町の魅力を再発見できたそうです。これからもチャレンジし続けて魅力をブラッシュアップしていきたいとのことでした。

須崎代表は、新型コロナウイルス感染症の影響について、緊急事態宣言によりお客さんが来ない状況となり不安であったが、日頃なかなか見えないところに目を向けられる重要な時間でもあったとのことでした。また、宴会等が減ったことから宿泊に更に重点を置き、サービスを変えていったそうです。

最後に須崎代表は、観光や旅行は、社会情勢に影響を受けやすい業界ではあるが、楽しみや癒やしなど心がリフレッシュできるかけがえのないものであり、これからもお客さんが喜んでくれるよう精一杯のおもてなしを提供していきたいとのことでした。



銘仙の説明を受ける森町長



貸切露天風呂



改修中の客室の説明を受ける森町長



自慢の郷土料理



須崎ご夫妻と森町長

#### 我が社は、ここに自信あり

須崎旅館は、115年の歴史がある旅館です。小鹿野町の食材を使った郷土料理や地酒を提供しており、貸切露天風呂もございます。2015年には、「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」選考委員会より「日本の小宿」に選出されました。

現在、改修工事を実施しており複数の部屋をリノベーションしてスイートルームを建設中です。ご家族で楽しい時間を過ごせるお部屋にいたします。

今後も従業員一同ホスピタリティ溢れる接客に努めてまいります。

#### 事業所概要

代表者	代表取締役 須崎真紀子
従業員数	16人
創業	1907年
所在地	小鹿野町小鹿野1815
電話番号	0494-75-0024